

「外国人住民のための交通安全・生活安全・防犯教室」

運営マニュアル（出張教室用）

出張教室とは、外国人材を雇用する企業や、海外から留学生を受け入れている日本語学校・専門学校等からの依頼に応じて、講師を指定場所に派遣し、本教室を開催するものです。

1. はじめに
2. 「外国人地域住民のための交通安全・生活安全・防犯教室」の目的と期待効果
3. 同教室用のコンテンツについて
 - (1) 同教室の説明用コンテンツについて
 - (2) 説明用コンテンツの構成と想定所要時間について
 - (3) 説明会会場の環境（オンライン・オフライン）について
 - (4) 参加者とのコミュニケーションについて

(5) クイズの運用について

4. 申し込み受付（出張教室）～開催までの手順

5. 添付資料：本教室開催に使用する書式

(1) 教室開催・運営の流れ（ご講演者のためのマニュアル）

(2) 出張教室申し込み者（企業・団体等）用の申込書式一式

(3) 本教室開催に使用する書式

独立行政法人 国際協力機構 筑波センター（JICA 筑波）

アイ・シー・ネット株式会社

1. はじめに

近年、各地域において技能実習生・特定技能、留学生をはじめとする外国人住民が増加傾向にありますが、これに伴い、交通ルール・生活ルール・マナー違反等による地域住民との軋轢や、知識不足が原因で犯罪に巻き込まれる等の事例が増加しています。

特に、日本に入国したばかりで日本のルールがまだ身についておらず、日本での生活に慣れていない層、具体的には技能実習や留学の在留資格で来日した日本入国後1年未満の層は、日本のルール・マナーに理解が追いついておらず、軋轢や事故、犯罪に遭遇する可能性が高いと思われます。

実習実施者（技能実習受入企業）や日本語学校（留学先）へのヒアリングによれば、入国時やその後に折りを見て、日本での生活ルールの周知や指導を行ってはいらるものの、それでも問題が発生してしまうとのことで、より日本のルール・マナー等に関する情報提供・周知を徹底していきたいニーズが見られました。

しかしながら、企業や日本語学校は単発的な指導は行うものの、本テーマに関する教育コンテンツを独自に有しているところは少なく、問題発生後に事後的に対処しているケースが大半です。今後、外国人材の適正かつ円滑な受け入れを促進し、地域住民との軋轢を減らし、地域社会との共生関係を築く上では、問題発生の前にこれら外国人材、特に来日初年度層への日本のルール・マナーへの理解促進を行うことが極めて重要と考えるところです。

これらの点を鑑み、「外国人地域住民のための交通安全・生活安全・防犯教室」用コンテンツ及び同教室の運営マニュアルを作成いたしました。ぜひご活用いただければ幸いです。

2. 「外国人地域住民のための交通安全・生活安全・防犯教室」の目的と期待効果

目的と期待効果は以下のとおりです。

目的	外国人住民（特に入国後1年未満）に対する交通安全・生活安全・防犯情報の提供を通じ、外国人住民の危険遭遇リスクを減少させるとともに、地域社会との円滑な共生関係の構築を図る。
期待効果	① 外国人住民への適切な情報提供により、事故・犯罪への遭遇リスクを抑止する。 ② 日本での生活ルールへの理解を深めることで、地域社会との軋轢を減らし、地域社会との円滑な関係を構築する。 ③ 市内の受け入れ事業者（企業や日本語学校等）の受け入れリスクや負担の軽減に貢献することで、外国人材の円滑な受け入れを後押しする。

3. 同教室用のコンテンツについて

(1) 同教室の説明用コンテンツについて

同教室の開催運営にあたり、同教室にて使用する説明用コンテンツを別途ご用意しています。（詳細は別添資料をご参照ください）

説明用コンテンツはプロジェクター等での投影も想定し、パワーポイントにて作成してあります。また、各ページのノート部分に講師を担当される方へのご案内事項なども付記してあります。

説明資料で使用している用語や表現は、参加者の日本語レベルがあまり高くない場合も想定し、外国人の日本語学習に使われる最も基本的な教材である「みんなの日本語（初級）」で使われている用語を中心に選定しています。

(2) 説明用コンテンツの構成と留意点

説明用コンテンツは、「交通安全」「生活安全」「防犯」の3分野で構成されています。

なお、説明の際は特に次の点にご留意ください。

留意点1	できるだけゆっくりしたペースでお話してください。
留意点2	できるだけ簡易な日本語（やさしい日本語）を使うようにしてください。
留意点3	先方（申込者側）に通訳がいる場合は、通訳の方にもご協力いただく形での運営をご検討ください。

参加者が技能実習生、特に入国してから間もない場合などは、まだ日本語を聞くことにも不慣れなことも多いです。早口になりますと、聞き取れない、内容が理解できない、となる可能性も高いため、意識してゆっくりお話しください。

また、日本人の説明の場合、往々にして難しい言葉や表現を使うことがありますが、参加者が学んでいない単語については、理解ができないため、なるべく簡単な日本語やシンプルな表現（インターネット等で「やさしい日本語」をご参照ください。）をお使いください。

なお、先方（申込者側）に通訳がいる場合は、事前に通訳の方に適宜フォローをお願いしておきますと、運営がスムーズに進むことが多いです。適宜、参加者が理解度について通訳に確認しつつ、進行できますと、参加者の理解を深めることができます。

上記の点を考慮し、各分野の概要と想定される所要時間（講演・説明時間）を整理したものが下表となります。

＜各コンテンツと想定所要時間＞

コンテンツ	内容	所要時間
(A-1) 交通安全教室	交通安全(特に自転車ルール)に関する説明	15 分
(A-2) 交通安全教室クイズ	上記に関する理解促進を目的としたクイズ	5 分
(B-1) 生活安全教室	日本での生活ルールに関する説明	5 分
(B-2) 生活安全教室クイズ	上記に関する理解促進を目的としたクイズ	5 分
(C-1) 防犯教室	防犯や犯罪に巻き込まれないための説明	10 分
(C-2) 防犯教室クイズ	上記に関する理解促進を目的としたクイズ	5 分

*基本パッケージとして、上記3分野のコンテンツで合計45分を想定。

*その他コンテンツ（例えば腹話術や試乗体験など）、開会・閉会を含め、合計60分を想定。

(3) 説明会会場の環境（オンライン・オフライン）について

説明会は、プロジェクターと投影するスクリーン（白壁等でも可）があれば開催可能ですが、オンライン環境の場合は、説明用資料（交通安全教室）に埋め込んだYouTube動画を見せることも可能です。

当該ページには、YouTubeへのリンクが埋め込まれていますので、オンライン環境であれば、クリックすることで動画が再生されます。（愛知県警・山梨県警の動画リンクが埋め込まれています）

(4) 参加者とのコミュニケーションについて

3分野それぞれ、説明終了後に「みなさんの国と違うところを教えてください」というスライドを置いています。

参加者に説明を聞いた上で、自分たちの国の事情とどこが違うかなどを答えてもらうことにより、理解の確認やコミュニケーション促進を図ることを目的としています。

例えば、日本は右側通行（インドネシア、タイ、ネパールも同様）ですが、東アジア・東南アジアの国の多く（中国、ベトナム、フィリピン、カンボジア、ミャンマーなど）は左側通行といった違いもあります。

日本人参加者や通訳とも連携しつつ、参加者へ確認してみてください。

(5) クイズの運用について

3分野それぞれの最後にクイズを設定しています。

クイズの目的は、「楽しく参加してもらうこと」「参加者の理解度を測ること」「日本人参加者とのコミュニケーション促進を図ってもらうこと」です。

3分野それぞれに以下の形で6問を設定しています。

＜各設問の対象者・内容及び回答方式＞

設問	クイズ対象者と内容	回答方式等
第1問 ～第4問	外国人材に対して、これまでの説明内容の理解度を問うものです。	○×方式 (○×シートをご利用ください。)
第5問	日本人参加者に対して、外国人材の出身国の情報を問うものです。	自由記入方式 (自由記入シートをご利用ください。)
第6問	全参加者に対してのクイズです。	

(補足1) チーム分けについて

日本人参加者が複数名いる場合は、日本人参加者の人数に合わせてチーム分けをすることもオススメです。クイズの回答前に各チームで相談する形にしますと、より日本人参加者とのコミュニケーション促進にもつながります。

(補足2) チーム対抗戦にする場合

チーム制にした上で、より積極的な参加を促したい場合、クイズへの回答正否で点数をつけ、チーム対抗戦にすることも考えられます。(レインコートや文房具、自治体のノベルティ等、簡単な景品などがあると尚盛り上がると思われます。)

対抗戦にする場合は、チーム間の座る席の場所を空けてお互いの会話が聞こえない程度の距離を保って検討できると理想的です。

本資料末尾に参考資料として「得点表」をご用意していますので、必要に応じてご利用ください。

4. 申し込み受付(出張教室)～開催までの手順

手順	項目	業務内容等
①	出張教室の案内	ウェブサイト、広報誌等にて、本出張教室を提供していることを告知してください。 ウェブサイト等に申込書式一式を掲載しておく形も考えられます。

手順	項目	業務内容等
②	申込書の受領	申込者から申込書式一式を受領してください。 (メール、ファックス等、対応可能な方法を事前指定されるとよろしいかと思います。) 書式一式は添付資料をご参照ください。
③	日程調整	申込者の希望日程を踏まえ、運営側の関係者(例:運営者や警察署等)の予定も含め、調整してください。
④	開催方法の確認	希望時間枠と希望コンテンツに応じて構成を調整してください。 会場の設備に応じて、使用ツールを選定してください。
⑤	会場・機材の確認	必要に応じて内見及び機器テストを行なってください。
⑥	(資料データの送付)	申込者側にて資料を印刷してもらう場合は、事前に PDF データを送付し、参加者に印刷配布してもらってください。
⑦	開催	開催方法等は「ご講演者のためのマニュアル」をご参照ください。

5. 添付資料

以下の書式をご用意しています。

- (1) 教室開催・運営の流れ（ご講演者のためのマニュアル）
- (2) 出張教室申し込み者（企業・団体等）用の申込書式一式
- (3) 本教室開催に使用する書式
 - ・ ○×シート
 - ・ 自由記入シート（クイズの答え）
 - ・ 参考資料「クイズ得点表」

以上

教室開催・運営の流れ（ご講演者のためのマニュアル）

運営の手順と内容	参考資料・画像
(1) 開催準備（会場設営・機器設置） ・ プロジェクター等、資料を投影する機器の事前チェックを行います。	
(2) チーム分け ・ 参加者に日本人（職員）が複数名いる場合は、日本人の人数に合わせてチーム分けをします。 ・ 資料とクイズ回答用シート（〇×シート、自由回答シート）も配布してください。	
(3) 開会の挨拶 ・ 開会のご挨拶を行なってください。 ・ 簡単な日本語で、開催の目的など簡潔にお話してください。	
(4) 交通安全教室 ・ 交通安全（自転車）のルールに関する説明です。	じてんしゃ き 自転車で 気をつけること  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency
① 説明 ・ 自転車のルールについて、簡単な図と言葉で説明しています。 ・ わかりやすい日本語でゆっくりお話ししてください。	にほん どうろ ひだりがわ つうこう 日本の 道路は 左側 通行 です。  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency
(YouTube 動画の埋め込みページ) ・ こちらは資料内に YouTube 動画へのリンクを埋め込んでいるページです。 ・ オンライン環境の場合、画像をクリックすると YouTube 動画の再生が始まります。 ・ また、右上の QR コードは YouTube 動画へのリンクを埋め込んでいます。参加者は、自身のスマホ等から QR コードを読み込むことにより、YouTube 動画を閲覧することができます。	しては いけない こと  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency ばん だんわ ほうほう 110番に 電話する 方法  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency

運営の手順と内容	参考資料・画像
② 簡単なディスカッション - これまでの説明を踏まえ、参加者の出身国との違いなどを簡単にディスカッションしてください。 - チーム分けをしている場合は、チーム単位で話しあってもらい、代表者に発表してもらおうと良いです。	みなさんの国とちがうところを おしえてください  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency
④ クイズ - 全6問のクイズを用意しています。 - クイズの目的は、理解度の確認と日本人職員等とのコミュニケーション促進です。 - 第1～4問は外国人の方向け質問、第5問は日本人の方向け質問、第6問は全員向け質問です。 - 第1～4問は○×シートをチーム単位（または参加者）に配布して答えてもらいます。第5～6問は、自由記入型の回答シートを使ってください。	さけの おと じてんしゃの お酒を飲んだ後で 自転車に乗りました。  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency にほんじん かた もんだい 日本人の方への 問題です。 〇〇〇〇語で じてんしゃは なんでしょう？  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency
(5) 生活安全教室 日本で生活する上で知っておくべき知識、注意すべき点（トラブル等の原因になること）などに関する説明です。	にほんじん きら 日本人が 嫌いな こと  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency
① 説明 - 近隣住民とのトラブル、クレーム等の原因になっていることなどについて、簡単な図と言葉で説明しています。 - わかりやすい日本語でゆっくりお話ししてください。 - JP-MIRAI が提供する外国人向け無料アプリのご案内も入れています。	よる おおきな こゑで さわがない 夜は 大きな 声で  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency ぜいかつ べんり わりょう しょうかい 生活に 便利な 無料アプリの 紹介 「JP-MIRAI」 アプリのインストールは こちらから！  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency
② 簡単なディスカッション - これまでの説明を踏まえ、参加者の出身国との違いなどを簡単にディスカッションしてください。 - チーム分けをしている場合は、チーム単位で話しあってもらい、代表者に発表してもらおうと良いです。	みなさんの国とちがうところを おしえてください  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency

運営の手順と内容	参考資料・画像
③ クイズ - 交通安全と同じく全6問のクイズを用意しています。 - 構成も交通安全と同じく、第1～4問は外国人の方向け質問、第5問は日本人の方向け質問、第6問は全員向け質問です。 - 第1～4問は○×シートをチーム単位（または参加者）に配布して答えてもらいます。第5～6問は、自由記入型の回答シートを使ってください。	たの 楽しいので みんなで おお こえ うた 大きな声で 歌いました  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency にほんじん かた もんだい 日本人の方への 問題です。 ○○○ 語で カラオケは 何でしょう？  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency
(6) 防犯教室 日本で生活する外国人に課せられる法律やルール、犯罪に巻き込まれないために注意すべきことなどを説明します。	ほうりつ 法律で しては いけない こと  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency
① 説明 - 法令上等の観点から、日本に住む外国人が気をつけるべきこと、行なってはいけないこと（犯罪行為に該当すること）などについて、簡単な図と言葉で説明しています。 - わかりやすい日本語でゆっくりお話ししてください。	パスポートや ざいりゅう ひと わた 在留カードは、 ほかの人に 渡さないで ください  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency
② 簡単なディスカッション - これまでの説明を踏まえ、参加者の出身国との違いなどを簡単にディスカッションしてください。 - チーム分けをしている場合は、チーム単位で話しあってもらい、代表者に発表してもらおうと良いです。	みなさんの国と ちが おし 違うところを 教えてください  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency
③ クイズ - 交通安全、生活安全と同じく全6問のクイズを用意しています。 - 構成も交通安全と同じく、第1～4問は外国人の方向け質問、第5問は日本人の方向け質問、第6問は全員向け質問です。 - 第1～4問は○×シートをチーム単位（または参加者）に配布して答えてもらいます。第5～6問は、自由記入型の回答シートを使ってください。	ざいりゅう たいせつ いえ 在留カードは 大切なので 家に あります  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency にほんじん かた もんだい 日本人の方への 問題です。 ○○○ 語で けいさつ 警察官は 何でしょう？  JICA Copyright © Japan International Cooperation Agency

運営の手順と内容	参考資料・画像
(7) その他コンテンツ ・ 独自のコンテンツ（例えば、腹話術や自転車シミュレーターなど）がある場合です。 ・ 本教室のどの段階で当該コンテンツを実施するかは配分時間等を勘案し、ご決定ください。	
(8) 閉会の挨拶 ・ 閉会のご挨拶を行なってください。 ・ 簡単な日本語で、本日の感想など簡潔にお話してください。	
(9) 会場撤去 ・ 会場設備等を片付けて、終了です。	

出張教室申し込み者（企業・団体等）用の申込書式一式

(主催者名)

「外国人地域住民のための交通安全・生活安全・防犯教室」

出張教室のご案内

「雇用している外国人材や、通学している留学生が、事故や問題に巻き込まれないようにしてあげたいが、なかなか交通や生活のルール、防犯の注意などを周知することが難しい」といったお悩みはありませんか。

当自治体では、日本での交通安全や生活安全、そして犯罪に巻き込まれないための防犯についての出張教室をご提供しています。外国人材の適正かつ円滑な受け入れを促進し、地域社会との共生関係を築く上では、これらのルールを入国後の早い時期から理解していただくことが大切です。是非、この機会にご利用ください。



【出張教室の内容】

交通安全教室	交通安全（特に自転車のルール）について説明します。
生活安全教室	日本で生活する上で特に注意が必要なルールについて説明します。
防犯教室	防犯や犯罪に巻き込まれないために必要な知識・ルール等を説明します。

【出張教室の開催要項など】

対象者	外国人材を雇用している、または留学生を受け入れている市内の企業、学校、その他団体等
申込基準	最低 10 名以上（外国人材の数）の参加をお願いします。 複数企業様の共同でのお申し込みも可能です。 日本人職員の方もご参加ください。 通訳の方がいらっしゃる場合は、通訳の方もご参加ください。
会場	お申込者様にてご手配ください。（要プロジェクター）
開催日程	希望日程をお伺いしたのち、ご相談の上、決定いたします。
費用	無料
お申し込み方法	所定の書式にご記入の上、担当者までお送りください。

【お問い合わせ】

自治体名 部署

TEL：0XX-XXX-XXXX

E-Mail：xxx@xxx.xxx.city

担当者名

FAX：0XX-XXX-XXXX

受付時間 平日 9:00～17:00

送付先名称・担当名

Eメール：xx@xxxx.xx.xx

FAX：0XX-XXX-XXXX

「外国人地域住民のための交通安全・生活安全・防犯教室」申込書①

下記フォームに必要事項をご記入の上、本書式左上にある送付先までご送付ください。

1. お申込者について

申し込み者名		
事業内容		
所在地	〒	
TEL/FAX	TEL	FAX
ご担当者名	氏名： メールアドレス：	
希望日程 (日にち及び時間帯)	第一希望： 第二希望： 第三希望：	
希望する時間枠	☐ 60分以内 (具体的な時間枠 分) ☐ 60～90分以内 (具体的な時間枠 分) ☐ 90分以上 (具体的な時間枠 分)	
希望するコンテンツ	☐ 交通安全教室 (主に自転車ルールに関する説明です) ☐ 生活安全教室 (日本での生活ルールに関する説明です) ☐ 防犯教室 (法律違反を防ぎ、犯罪に巻き込まれないための説明です) * 警察官の講義を希望される場合はチェックを入れてください。 ☐ 警察官による講義を希望	
その他希望事項 等があれば		

「外国人地域住民のための交通安全・生活安全・防犯教室」申込書②

2. 参加者について

参加者の人数 と出身国	① 出身国 (国) 参加予定者人数 (人) ② 出身国 (国) 参加予定者人数 (人) ③ 出身国 (国) 参加予定者人数 (人) ④ 出身国 (国) 参加予定者人数 (人) ⑤ 出身国 (国) 参加予定者人数 (人)		
参加者の 日本滞在歴 * 在留資格は参 考です。	3 ヶ月未満 (入国直後) 人 3 ヶ月以上 1 年未満 (技能実習 1 号等) 人 1 年以上 3 年未満 (技能実習 2 号等) 人 3 年以上 5 年未満 (技能実習 3 号/特定技能 1 号等) 人 5 年以上 人		
日本語レベル	聞く	だいたいわかる	人
		ゆっくり簡単な言葉ならわかる	人
		ほとんどわからない	人
		把握していない	人
	読む	だいたい読める	人
		簡単な言葉で短い文なら読める	人
		ほとんど読めない	人
		把握していない	人
	話す	だいたい話せる	人
		少しは話せる	人
		ほとんど話せない	人
		把握していない	人
通訳の有無	申込者側の通訳の有無をお教えてください。		
	☐ いる (対応言語:)		
	☐ いない		
本教室への日本 人職員の参加の 有無	本教室開催時にご参加される日本人職員についてお教えてください。 (日本人職員の方も一緒にご参加をお願いいたします。)		
	☐ 参加 (人) ☐ 不参加		
その他、参加者に 関する特記事項、 希望事項等			

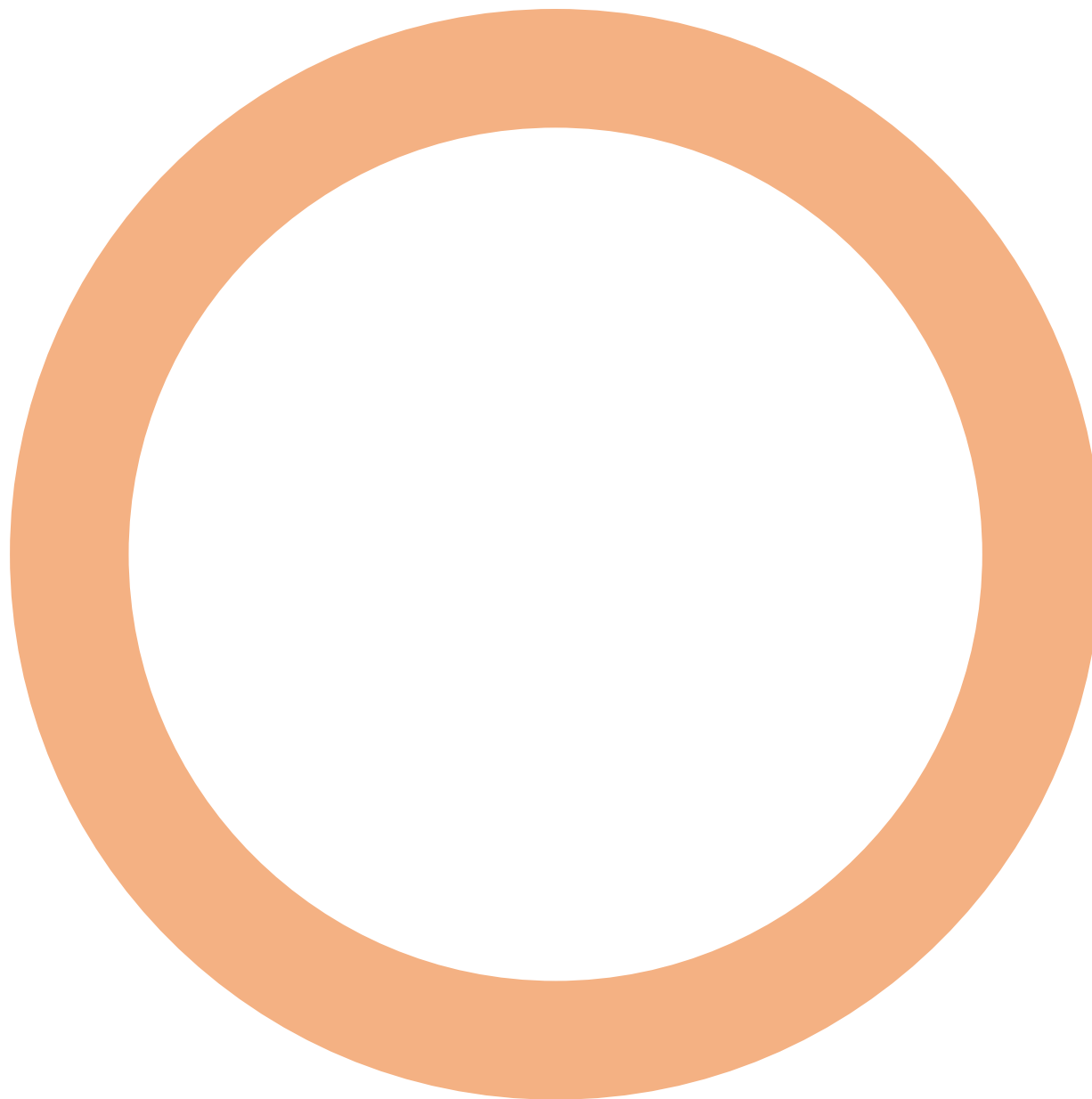
「外国人地域住民のための交通安全・生活安全・防犯教室」申込書③

3. 実施会場について

会場の有無	☐ 申込者（事業所）にて手配可能
	☐ 申込者（事業所）にて手配不可
手配可能な会場	☐ 会議室（座席数： ）
	☐ その他（ ）
使用可能な機材	☐ 無線 Wi-Fi
	☐ プロジェクター
	☐ スクリーン（資料投影用）
	☐ モニター（資料投影用）
	☐ その他
その他、会場に関する特記事項、希望事項等があれば	

以上お申し込みありがとうございました。

本教室開催に使用する書式





クイズの答え（こたえ）

参考：クイズ得点表（クイズをチーム対抗戦・得点方式にする場合にご利用ください）

[illegible]